

# ばれいしょ

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	品種栽培展示圃
目的	食用、加工用の品種における栽培特性を比較、検討し生産技術の普及に資する
期待される成果	各品種の特性を把握するとともに、輪作体型と作付け指標に沿った計画的な作付けを推進する
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会芋部会

## 1 供試品種・資材

品種

※農林一号 男爵薯 キタアカリ ワセシロ トヨシロ

※基準品種

## 2 耕種概要

土 壤 ～ 灰色低地土、埴壤土

前 作 ～ 大豆・小豆

浴光催芽 ～ 4月24日

植え付け日 ～ 5月19日

収穫日 ～ 9月9日

栽植密度

A区 標準栽培	農林一号・男爵薯・キタアカリ ワセシロ・トヨシロ	畦幅 75cm×株間 30cm	4,444株/10a当たり
B区 密植栽培	農林一号・男爵薯・キタアカリ ワセシロ・トヨシロ	畦幅 75cm×株間 25cm	5,333株/10a当たり

## 3 土壌診断結果と施肥量

### (1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.51	0.081	58.1	37.8	67.6	564.5	6.1

### (2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル ～ 0kg

### (3) 施肥内容 (成分量/%)

基 肥 ～ BBS004 ( 10 - 20 - 14 - 5 ) 5月11日 全層施肥

### (4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K	Mg
基 肥	BBS004 80kg	8.0	16.0	11.2	4.0
合 計		8.0	16.0	11.2	4.0

## 4 調査項目

生育調査 ～ 浴光催芽始・植え付け・萌芽始・萌芽期・萌芽率・初期生育(6月20日)  
着蕾期・開花期・茎葉黄変期・枯凋期・疫病指数

収量調査 ～ 総収量・規格内割合・M以上の製品率

特性調査 ～ ライマン価

## 5 生育調査

### A区(標準栽培)

項目	品種	4,444株/10a当たり				
		農林一号	男爵	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ
浴光催芽始		4月24日				
植え付け		5月19日				
萌芽始		6月1日	6月1日	6月1日	6月2日	6月1日
萌芽期		6月5日	6月4日	6月5日	6月5日	6月6日
萌芽率(%)		92.8	86.2	90.4	88.6	91.3
初期生育・6月20日(良5~不良1)		3	3	4	3	3
着蕾期		6月24日	6月22日	6月23日	6月25日	6月26日
開花期		7月3日	7月1日	7月2日	7月4日	7月4日
茎葉黄変期		8月7日	-	8月1日	8月3日	8月4日
枯凋期		9月4日	8月13日	8月27日	9月2日	9月2日
疫病指数(多5~少1)		2	5	4	3	3

### B区(密植栽培)

項目	品種	5,333株/10a当たり				
		農林一号	男爵	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ
浴光催芽始		4月24日				
植え付け		5月19日				
萌芽始		6月1日	6月1日	6月1日	6月2日	6月2日
萌芽期		6月5日	6月4日	6月5日	6月5日	6月6日
萌芽率(%)		92.3	90.8	88.6	87.5	89.6
初期生育・6月20日(良5~不良1)		3	3	4	2	3
着蕾期		6月23日	6月22日	6月23日	6月25日	6月25日
開花期		7月3日	6月30日	7月1日	7月4日	7月4日
茎葉黄変期		8月7日	-	8月1日	8月3日	8月3日
枯凋期		9月4日	8月13日	8月27日	9月2日	9月2日
疫病指数(多5~少1)		2	5	4	3	3

## 6 収量・特性調査

### A区(標準栽培)

項目		品種	4,444株/10a当たり				
			農林一号	男爵	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ
総収量 (kg/10a)			5,812	2,395	2,812	2,250	2,729
規格別収量 (kg)	3L以上		63	42	-	-	-
	2L		771	146	-	-	125
	L		1,666	708	417	334	458
	LM		1,291	583	437	396	417
	M		604	250	542	354	333
	S		1,042	239	625	583	563
外品			375	427	791	583	833
M以上の製品率 (%)			75.6	72.2	49.6	48.2	48.8
ライマン価 (%)			13.9	10.6	11.5	10.6	11.3

### B区(密植栽培)

項目		品種	5,333株/10a当たり				
			農林一号	男爵	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ
総収量 (kg/10a)			6,541	1,875	3,437	3,125	3,645
規格別収量 (kg)	3L以上		354	62	125	-	-
	2L		729	42	83	84	146
	L		1,541	562	188	479	437
	LM		1,229	333	729	687	750
	M		958	188	708	479	875
	S		1,188	188	833	771	1,000
外品			542	500	771	625	437
M以上の製品率 (%)			73.6	63.3	53.3	55.3	60.6
ライマン価 (%)			12.9	10.5	11.3	11.4	11.6

※規格 3L 260g 以上 2L 190~260g 未満 L 130~190g 未満 LM 90~130g 未満 M 70~90g 未満 S 70g 未満

## 7 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
6月29日	アディオン乳剤	2,000倍	6月29日	ダコニール1000	1,000倍
7月30日	アドマイヤー顆粒水和剤	5,000倍	7月30日	プロボーズ顆粒水和剤	750倍

## 8 試験結果概要

### (1) 生育経過

- ① 浴光催芽を4月24日に始め、5月19日に植付けを行った。萌芽始はA区トヨシロがB区より1日早い6月1日となったが、他の品種はA・B区で違いはなく萌芽始から3~4日で萌芽期を確認した。
- ② 着蕾期は男爵が最も早く、A・B区ともに6月22日に始まった。最も遅かったのは、A区のトヨシロで6月26日となった。開花期はB区の男爵が最も早く、着蕾期から8日後の6月30日となった。
- ③ 疫病指数は男爵が5(多5~少1)で最も高く、茎葉黄変期を確認することなく、8月13日に枯凋期となった。農林一号は2で比較的、疫病の発生量は少なかった。

### (2) 収量・特性調査結果

- ① 10a当たり総収量は農林一号がA区(4,444株/10a)で5,812kg、B区(5,333株/10a)で6,541kgとなり5品種のなかでは最も高い結果となった。しかし昨年の農林一号のA・B区平均総収量 9,688kgからは大幅な減収となった。また、B区の男爵は1,875kgで最も低い収量となり、昨年の7,400kgと比較しても大減収となった。M以上の製品率はA区の農林一号が75.6%で最も高かったが、品種ごとにA・B区で比較すると、農林一号・男爵はA区の方が高く、キタアカリ・ワセシロ・トヨシロはB区の方が高かった。
- ② ライマン価は最も高かったのがA区の農林一号で13.9%、最も低かったのはB区男爵の10.5%であった。

### (3) 考察

本年度は、低温・多雨といった天候不順により、昨年と比較すると大幅に減収となった。7月の長雨等により防除適期を逃してしまったこともあり、7月下旬頃から広範囲で疫病の発生を確認した。特に男爵・キタアカリ等の早生品種は疫病の影響が大きく、収量低下につながったものと考えられる。

次年度においては、防除効果の高い薬剤を選択し、適期防除に努めたい。